

フォトニュース

白くて可憐なそばの花が満開



▲秋の風物詩「そば」が町内で小さくて可愛い花を咲かせています。刈り取りが11月初旬から中旬にかけて予定されており、12月初旬には道の駅いながわで香り豊かな新そばを楽しめます。

秋の交通安全運動を行いました



▲9月21日から同30日まで秋の全国交通事故防止運動が実施され、初日に日生中央駅前広場などで、街頭啓発が行われました。

夕暮れ時から夜間にかけては、より危険な時間帯となります。早めのライト点灯で、交通事故を防止しましょう。交通ルールを守り、死亡事故ゼロのまちとなるようみんなで心がけましょう。

収穫の秋を満喫



▲9月26日、道の駅いながわで「第10回秋山味覚まつり」が開催されました。約10,000人の来場者で賑わい、毎年人気のしいたけの詰め放題やみそのすくいどりなどの催しや、そばの手打ち販売、



地場野菜の販売など、終始長蛇の列でした。

猪名川源流太鼓の演奏や観光ボランティアガイドによる体験ミニガイドなども実施され、来場者は秋の猪名川町を楽しみました。

猪名川町域からの御蔭参り
江戸時代、ほぼ千支の改まる61年に1度大流行した御蔭参りですが、町域に残る記録は文政13(1830)年の物が最も古いものです。
木津に残る「御蔭参り・御蔭踊」では、夫婦や兄弟のほか、若者や女性が御蔭参りのグループに1人で参加しており、利用人も同行するなど、戸主中心の伊勢講での伊勢参宮には参加できない人々も、日常から解放され楽しんだことが伺えます。
伊勢へは「奈良初瀬越え」と「丹波越え」の2コースが見られ、



おかげおどりにゆうようおほえちよう
▲御蔭踊入用覚帳

後者は京から東海道をたどったのではないかと思われます。
また広根では、同じ文政13年の御蔭参りの際に使われた幟が見つかっています。すでに変色していますが上質の厚手の絹製で、色糸で縁どられています。
中央には「天照皇太神 宮」、右に「御料 摂州川辺郡 宮」に「御蔭 多田広根組」と墨書されていて、村ぐるみの大がかりな御蔭参りが行われたことを示します。

「元気ファーマいながわ」の設立総会を開催



▲9月28日、生涯学習センターで、特定非営利活動法人「元気ファーマいながわ」の設立総会が開催されました。
これは町主催による団塊の世代の農業体験養成講座の受講者を中心となり設立されたものです。現在の受講者は36人で、約2000平方メートルの遊休農地を利用して農園体験を行っています。町商工祭でも、同農園で生産した地場産野菜を販売し、地域住民のみなさんに喜ばれました。

北摂栗の出荷始まる



▲10月1日からJA兵庫六甲猪名川支店前で北摂栗の販売が始まりました。
今年は気温が高く、雨が少なかったため、例年より収穫量が少ないものの、全体的に小粒で甘味のある栗となっています。

▼「うまいなあ」というのが率直な感想です。字のバランスも抜群。
森 ふみかさん(2年)



▲ゴミのポイ捨て禁止ポスターです。背景にも意識し描きあげました。
菱沼 璃乃さん(2年)



中谷中学校

三年 西尾 菜奈美
万葉の里



▲葛飾北斎作「富嶽三十六景」の神奈川沖浪裏の模写です。細かな波に苦勞しながら丁寧に描きました。
大西 紗瑛さん(3年)

◀実直な中にしっかりと主張する人柄の表れた一筆。
西尾 菜奈美さん(3年)